

各位

上場会社名 株式会社 藤商事
 代表者 代表取締役社長 松元 邦夫
 (コード番号 6257)
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長 當仲 信秀
 (TEL 06-6949-0323)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年9月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	7,000	7,000	4,000	160.67
今回修正予想(B)	40,500	3,000	3,000	2,000	80.34
増減額(B-A)	△9,500	△4,000	△4,000	△2,000	
増減率(%)	△19.0	△57.1	△57.1	△50.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	46,991	6,267	6,317	3,123	125.46

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式の分割を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

修正の理由

第3四半期累計期間におきましては、パチンコホールの厳しい経営環境を背景に、新機種の選定は、話題性が高く、集客力の維持・拡大が期待できる一部の有力機種にとどまり、総じて1機種当たりの販売台数は減少する傾向が続いております。

当社におきましては、第3四半期にパチンコの新規タイトルとして「CR新アレジン」、「CR PROJECT ARMS」シリーズ、「CRゲゲゲの鬼太郎 墓場からの招待状」シリーズの発売や、第2四半期までに発売した機種の手軽に安く遊べるタイプなどを市場投入し、販売台数の確保に努めました。

しかしながら、9月発売の「CR KING of KEIBA」シリーズ、11月発売の「CR PROJECT ARMS」シリーズにつきましては、市場からの十分な評価を得るまでにはいたらず、販売台数は低調に推移いたしました。

当第4四半期の商戦におきましても、パチンコ、パチスロ遊技機ともに新機種を市場投入し、営業活動を鋭意推進しておりますが、引き続き厳しい商戦を強いられております。

また、当期に販売を予定しておりましたパチンコ遊技機、パチスロ遊技機それぞれ1機種につきましては、市場ニーズに対応する商品性を実現するために、さらなる作り込みが必要と判断し、販売時期を変更することといたしました。

これらの要因により、通期のパチンコ遊技機の販売台数は計画台数150千台に対し130千台、パチスロ遊技機の販売台数は計画台数10千台に対し5千台の見込みとなり、売上高は500億円から405億円に修正いたします。

また、利益面では、販売台数の減少に伴う売上高の修正や、作り込み強化による研究開発費の増加などの影響により、営業利益30億円、経常利益30億円、当期純利益20億円に修正いたします。

※上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上